

熱中症から区民を救うことを求める陳情

(福祉健康委員会付託)

受理番号 第100号

受理年月日 平成24年8月6日

付託年月日 平成24年9月25日

陳情者 . . . . .

. . . . .

陳情原文 今年も暑い夏がやってきました。報道によれば各地で熱中症による症状で倒れる人が続出しているようです。

今年も昨年と同様に福島原発事故による電力不足を原因に、かつてない大がかりな節電が政府によって呼びかけられています。過度の節電によるエアコンの利用制限や大気の放射能汚染による窓の開閉の頻度により、室内の温度上昇は容易に想像できます。

体温調節が若年層よりも鈍くなった高齢者に、多くの症状がでるのではと心配されます。まして風通しが悪くエアコンの無い家庭や高齢者世帯では、その影響をうけるのは必至です。

そこで、江戸川区が区民の生命と健康を守り、熱中症でひとりの犠牲者も出さないことを願い、下記のとおり陳情します。

記

- 1 広く区民に熱中症に関する情報、予防、対策などを伝えること。
- 2 高齢者世帯、とりわけ独居高齢者の健康状態に注視すること。